

北広島町まちづくり拠点施設基本計画・基本設計・実施設計業務
公募型プロポーザル 第二次選考講評

○最優秀者について

施設コンセプトを読み解き「求心力、多様性、発信力、連続性、回遊性」を求められるテーマとして、これらを実現するための施設のあり様を提案するプレゼンテーションであった。組織の取り組み姿勢を含めて非常に良い内容であった。

集いの場プラスまちづくりの拠点と言う考え方が形として現されており、多様な機能を融合させ、かつ、それらが自然と交じり合う多様性が高い提案である。東側に駐車場を配置することで、本まちづくり拠点施設だけでなく、コアゾーンやアイデンティティゾーン、商業ゾーンへの誘いも生まれるようになっている点も良い。

図書機能の面で、広い空間となっていて、他の機能の利用者との交流も生まれる仕掛けがあり、利便性は良いがセキュリティが課題。また図書館の中でセルフカフェはどうかという思いがあるが、これから運営者と設計者が考えをすり合わせていく中で良いものができることを期待する。

4つのまちが一つになって北広島町になったことの意義を踏まえ、本施設が町全体への求心力を持つという思いを機能として持つ施設としてこの形になったことを評価する。

これから町民と色々話をしながら育てていく、町民とともに作っていくという今後の成長性を持たせていることで高く評価した。

○次点者について

可動的なロビーを北側に配置していて、コアゾーンとの一体感がある。コアゾーンに向かって非常に開放感があり、見ていて気持ちの良い空間である。子どものスペースも良い。

ゾーン形成と言う概念をまず打ち出したのが非常に良かった。建物の意匠についても非常に好感が持てる。

屋根に県産材を使うということで、シンボリックな作りをしている。内部と外部のつながりをかなり意識されて外との一体感を生み出すことにはかなり工夫していた。

内部空間については、ある部分短所にもなるが2階構造にすることで水平的な広がりだけでなく、垂直方向の広がりも含めて人々の交流を生み出せるものになっている。

コンセプトである「集い、学び、交わる」と言う点は良く考えられており、集まりやすい機能であるが、2階建てと言うところが難点。吹き抜けという事で、空間が広いのでそれだけ冷暖房についてコストがかかるのではないか。

南側に駐車場を配置しているが、東側も利用できるような形があればよかった。コアゾーンが円形で構成されることが前提で、建物の平面形状を決めているので、ここからの変更が難しい。

形状として、コアゾーンの形状にかなり影響を受ける事と、2層構造にすることでバリアフリーとするための対応策をあえてつくらなければいけないことが心配である。